

令和7年度 第2回 駒込第三保育園運営協議会 議事録

日時：令和8年2月24日(火) 18時～19時15分

場所：駒込第三保育園ホール

出席者：学識経験者 東洋英知女学院大学人間科学部
保育こども学科教授 坪内千明
保護者の会 まとめ役 三島央
事業団事務局 保育課長 吉山文子
駒込第三保育園 園長 熊谷昌子 主任 鈴木圭 主任 入野全弘 主任 福元啓介

【協議事項】

(1) 令和7年度 一年の事業報告

※別紙 令和7年度 駒込第三保育園 事業報告参照

(2) 令和8年度 事業計画

※別紙 令和7年度 駒込第三保育園 事業報告内<令和8年度の事業計画>参照

(3) 保護者の会より

3歳児室ロフトの2階にある本棚やベンチ・テーブルの地震対策について知りたい。

<園からの回答>

- ・本棚はビスで固定されている。ロフトと窓の間に板もあるため、テーブルとイスが直接窓に当たる可能性は低いと考えている。また、落下する確率も低いと考えられる。
- ・ロフトで遊んでいた際の避難訓練は、これまでやったことがなかったので、今後は実施していきたい。

(4) 学識経験者様より

- ・重点目標を大切にしながら、とうきょうすくわく事業を全クラスで取り入れ、活動を行ったことで、さらに子どもの想像力を伸ばすことができたと思う。
遊びを展開するような保育士の言葉がけなど、子どもの気付きを上手に促していると感じた。1つのテーマを継続してできるとおもしろいと思う。
- ・人材確保と言う面では、職場環境が大切である。今年度7名の実習生を受け入れている。学生は現場を見る事が大切。職場体験など、窓口を開いて高校生にも保育園を見てもらうと良い。保育士の退職理由は、人間関係が大半を占めている。メンター制度を取り入れるなど工夫があり、新人保育士が気軽に話せる相手が身近にいる事やショートミーティングを行うなど、職員が職場に根付く働きやすい職場づくりができています。
- ・保護者との関係では、互いにいい関係を保っている。園に関心がある方が今後もボランティアベースで協力していけるように継続していくと良い。園からの呼びかけが、今まで以上に大切になってくると思う。
- ・ホームページやSNSに発信していく取り組みを考えている所も工夫されている。

(5) 事務局より

・少子化が進んでおり、入園者も減少してきている。その中でも、令和8年度の入園は、0歳児、1歳児、2歳児クラスの定員を、満たすことができた。新入園の方に、選んでいただいたことは、とても励みになる。しかし、4歳児、5歳児クラスは引っ越し等で人数が減少しているうえ、入園者がほぼいないため、欠員が目立っている。今後も、引き続き、質の良い保育を目指し選ばれる園を作っていく。

・とうきょうすくわく事業は、6年間期間限定の事業であるため、残りの4年間も計画を立てて子どもの環境を整えていきたいと思う。また、この取り組みは、子どもの育成だけでなく、職員の保育力の向上にもつながると考えている。

・保護者の会については、今までのような活動はなくなるが、変わらない目的をもって存続していただけることに、感謝している。

(6) その他

なし

以上

記録 福元